



## 現場の声から、 政策の前進へ

(平成26年度入省)

中国四国管区行政評価局

評価監視部 評価監視調査官

### ● 現在はどんな業務をしていますか？

各府省の業務の実施状況を調査し、改善方策を提示するための行政運営改善調査を担当しています。調査の中では、実際に現地を見に行ったり、自治体や関係機関から直接生の声を聞いたりしながら、現場での課題を探っていくのですが、その際、政策の目指す姿、調査の目的を念頭に、政策を前に進めるために、どのような情報が必要かを常に意識しています。

これまでに「世界文化遺産の保存・管理」「がん対策」「買い物弱者対策」「第4種踏切道の安全確保」「民生委員による証明事務」などの調査に携わりました。これだけ見ても特定の分野ではなく、幅広い分野に関わることができると感じてもらえるのではないかと思います。

### ● 仕事の中で、やりがいを感じていることは？

様々な分野の現場で見聞きした実態を基に、課題を考え、解決に向けて働きかけることができることにやりがいを感じます。当局が調査結果を報告した後、実際に課題解決のための取組を行うのは各府省や自治体であるため、当局が直接表に出ることは少ないかもしれませんが、調査結果を基に関係機関から照会があった際などは、自分たちの仕事で世の中が動いていることを実感します。

### ● 仕事と家庭の両立については、どんな支援制度がありますか？

育児や介護等のための様々な休暇制度のほか、時短勤務やフレックス等、勤務時間を柔軟に変更できる制度もありますので、家庭の事情に応じて勤務時間を変更している職員が多いと思います。また、総務省ではテレワークの活用も推進しています。

### ◆ 受験生に向けた一言メッセージ

「行政評価局」という名前を初めて聞く方も多いと思います。ここでは説明しきれないこともたくさんありますので、当局の業務に少しでも興味を感じたら、ぜひ話を聞きに来てください！

